



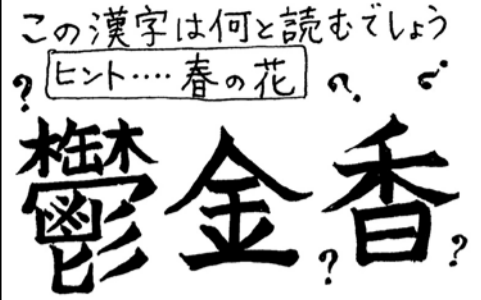
コーレ倶楽部通信



おなじみのチューリップ。日本に伝来したのは江戸後期。ウゴンの香りに似ていることからこの漢字が使われたそうです。

コーレ倶楽部通信新聞部

〒938-0031 富山県黒部市三日市 20 番地 コーレ
TEL. 0765-57-1201 FAX. 0765-57-1207



結成
25年

ピアノ「ドレミの会」にオジャマ

これからも軽やかに

2001年4月に産声をあげた大人のピアノサークル「ドレミの会」。この倶楽部通信でも度々ご登場いただき、多くの会員の方々にはお馴染みのグループのひとつでありましょう。結成25年を迎え、ご挨拶に伺うと……。

月2回のいつもの活動場所はリハーサル室。扉は開放され、ピアノの音色と賑やかな笑い声が聞こえてきました。出迎えてくださったのは代表の松木さん。張りのある通る声は、いつお会いしても澁刺としてらっしゃいます。

— 25年という道のり、振り返っていかがですか？

松木: 私は立ち上げ当初からのメンバーではないんです。入って13年ほどになるかな。この会を立ち上げたのは富山市の方で、初代代表を務められました。大人が気軽にピアノを楽しめる場がコーレにできたからこそ、今もこうして皆とワイワイできるんですよ。長くサークルが続いているのは、この敷居の低さゆえなのかしらね(笑)。

— ティータイム・コンサートの、初回からの写真を見せていただいておりますが、参加者名まで記録されていて素晴らしいですね！ 貴重なドレミの会の歴史です！

松木: この時はあだった、こうだったと懐かしい！ 毎秋恒例のコンサートは会場をマルチホールでやるんですが、第2回の時は会場手配のトラブルで、カーターホールでやったんですって。第10回くらいまではステージ衣装に華やかなドレスを着たりして……。富山市など、遠方から参加しているメンバーもいますね。でも今は黒部まで足を運ぶのが難しくなった方もいます。この先もティータイム・コンサートを目標に、歳を重ねても皆でがんばっていきたいわね！

— 黒部宇奈月温泉駅に置いてあるピアノで、駅ピアノをされたこともあるとか。

松木: 皆であそこでお弁当を食べた後、駅のピアノを弾いて楽しんだことが何度かありますね。小さなピアノサークルが、駅ピアノをささやかに楽しむってなかなか良いでしょう！ テレビでも取り上げてくれないかしら(笑)。

この取材時にも、ピアノはまったくの初心者という方がひとり見学にお越しでした。「ドレミの会」は、これからも軽やかにメロディを奏で続けます。(TEXT = P)



第2回の発表会は、今までの中で唯一のカーターホールという大舞台！ 演奏を披露し終え、安堵の笑顔が素敵な1枚をお借りしました。心臓が飛び出る程の舞台は若さの源でしょうか。



コーレの24時間ライブに出演した時のひとコマ。ハーモニカとピアノの合奏でお客様に癒しの時間を届けられたことがあったんですね。趣向を凝らした選曲で今年も出演されますよ〜。

「ドレミの会」メンバー募集中

ピアノが好きな大人たちが集まるサークルです。毎月、コーレのセミコンピアノを囲み、おしゃべりしながら、それぞれ好きな曲を練習しています。ピアノ教室ではないので指導はありません。秋にはアットホームな発表会もしています。

参加資格：コーレ倶楽部会員 (いつでも入会できます)

※お申し込み・お問い合わせはコーレまで (tel. 0765-57-1201)



今月のひとりごと

歩こう、歩こう、私は元気♪

新聞で『棺桶まで歩こう』という本の宣伝を目にしました。「歩けるうちは、人は死なない」という命題。コロナ禍によってリモートワークやオンラインミーティング、ネットでの買い物や宅配が当たり前になり、通勤通学、近所への買い物でさえも、家から離れて歩く機会が格段に減りました。一歩も動かずに何でも出来る時代がすぐそこに!? 私は、同じ歩くのならウォーキングマシンの上ではなく、自然に触れながら外を歩きたい。知っているつもりになっていた場所も突然、未知の風景となって出会う時があります。段差はないか、滑って転ばないか、ここに足を置いても大丈夫か、そんな事をいちいち考えずとも、人はそれらの判断を歩く時、無意識に瞬時に行い、次はどの場所にどんな速度で踏み出すか絶え間なく身体と脳が判断しています。おのずと呼吸をきちんとするように、酸素が体中に行き渡り血が巡って五感が目覚めて行きます。なんて素敵なんでしょう。アスファルトの道、岩場、砂浜、草原、山道、沢、あらゆる道を楽しく歩けたら、いいだろうな。

「棺桶まで歩こう」の著者萬田緑平氏は「死ぬ前日までトイレに歩いて行きますよ」と言う。ゆっくりしか歩けなくても、背筋をのばして、堂々と歩きましょう！

<怠け者の散歩好き・ぼちぼちでんな>

アクティブグループ

「アクティブグループ」とは、コーレ倶楽部会員の中で、特に意欲的・積極的に活動するメンバーが集う、いわば「サークル」みたいなもの。自己表現したい人、裏方に興味のある人、ボランティア活動したい人……何かしたくてムズムズしているいろんな人たちが、それぞれ自分の得意分野を持ち寄り無形の情熱を有形に変えていくグループです。何をやるかによって構成メンバーは変化するでしょう。しかし、主役は常にあなた自身です。

アクティブグループ活動場所として、専用の部屋を無料で開放しています。ミーティングなどに、お気軽にご利用ください。興味を持ったサークルがあれば、コーレまでご連絡ください。



コーレ倶楽部アクティブグループ 4月の活動予定

大人のピアノサークル ドレミの会

ピアノを楽しんでいます。特に指導はありません。
▼4月18日(出)・27日(月) 各日 13:00 ~ 17:00

弦楽サークル 楽屋ストリングス

ヴァイオリンを楽しみましょう。初心者大歓迎。
▼4月7日(火)・21日(火) 各日 19:30 ~ 22:00

アコギを楽しむ会

アコースティック・ギターを楽しみます。見学歓迎。
▼4月5日(日)・26日(日) 各日 19:00 ~ 22:00

消しゴムはんこづくり ペったん

1回だけの参加も大歓迎。初心者もOK、材料費必要。
▼4月30日(木) 19:30 ~ 21:00

コーレ倶楽部通信新聞部

この倶楽部通信を毎月作っています。お仲間募集中。
▼ミーティング：4月9日(木) 19:30 ~ 21:00

お問い合わせ：コーレ (tel. 0765-57-1201)

こんなン観てきました！

コンサート、お芝居、映画、美術展など、倶楽部会員からの鑑賞レポートが届きました。

パフォーミングアーツのエントランス 講談（宝井琴鶴 & 神田山緑）

2026年2月7日/カラーレ

間近で舞台芸術を楽しむことができる「パフォーミングアーツのエントランス」。今回は3大話芸のひとつである講談が女性講談師の宝井琴鶴さんと男性講談師の神田山緑さんによって披露されました。

最初に講談についてお二人による解説がありました。講談に必要な釈台、張扇、扇子の使い方の説明や講談の歴史。一人前になるまでの苦労話など大変興味深く、聴き入りました。講談師は現代では結婚式で夫婦の馴れ初めを語る等、話芸としての活躍の場が多数あるとのことでした。また、講談に関するクイズや体験もあり会場が一体になり盛り上がりました。

解説の後は演目の一つ目、寛永三馬術より「出世の春駒」が宝井さんによって語られました。梅咲くころに語られるとのことが多いとのこと、ストーリーの流れとしては徳川家光の時代、家光が参拝の帰り道に愛宕山に差し掛かると紅梅、白梅を山上に見つけ、家臣に馬で石段を登り取ってくるよう命じるところから始まります。最後は曲垣平九郎が見事に馬で登り、梅を手折って急勾配な石段を無事に馬で駆け下り、家光から馬術の名人と讃えられる物語でした。殿様と家臣のやり取りや、他の挑戦者の失敗と曲垣平九郎の成功の対比が見てきたかのように生き生きと語られ爽快でした。

二つ目の講談は神田さんにより小泉八雲作「耳なし芳一」が語られました。怪談では有名な物語ですが、今回はカラーレ特別版・立体怪談とのことで照明や音響付きで、より怪談らしい演出がありました。イメージが湧き倍増で、目でも耳でもより楽しめました。

最後は皆でカラーレ 30周年を祝い、3本締めで終わりました。ドリンク付きで開演前や休憩時間に飲み物が飲めるのも嬉しく、終始和んだ雰囲気の中で楽しむマルチホールでの講談で極上の時間を過ごすことができました。

<ヒスイの森/女性>

倍賞千恵子 コンサート 2026 with 小六禮次郎

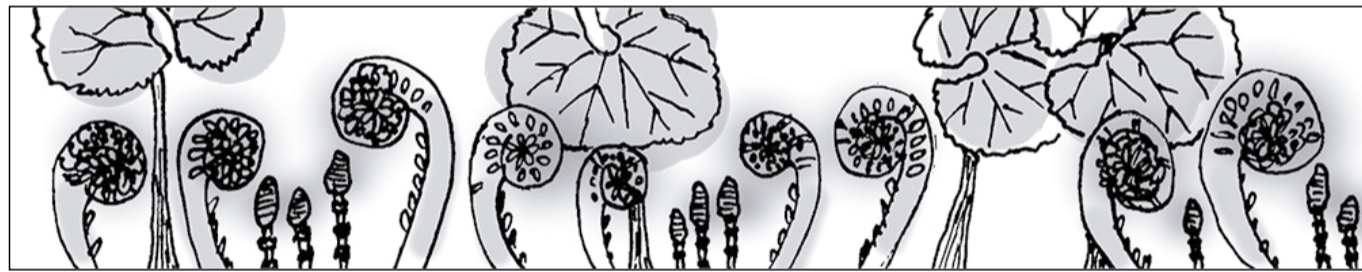
2026年2月21日/金沢市文化ホール

2月とは思えないぽかぽか陽気の中、倍賞千恵子のコンサートを観てきた。倍賞千恵子といえば「さよならはダンスの後に」「幸福の黄色いハンカチ」「男はつらいよ」シリーズ等、数々の映画に出演し、昭和の日本映画の黄金期を築いた名女優である。また幼少より類まれな歌唱力で数々のヒット曲を世に送り出した名歌手でもある。

私は今年69才を迎えるので、ちょうど小学生に上がった頃の映画、ドラマなどのエピソードを聞けるとあってうきうきと弾む思いがこみあげてくる。「おはなはん」が聴きたいなあと思っていたところ、オープニングがまさにそれであった。NHKの人気朝ドラ、視聴率60パーセントを超え、日本中の水道が止まったともいわれ、当時の情景が一気に脳裏に浮かんだ。そして曲は会場に映し出された映画のワンシーンに軽妙なエピソードやトークを交え、「忘れな草をあなたに」「下町の太陽」と夢のようなかつての時間軸へと進み幼き頃の思い出の世界に一気に引き込まれる。懐かしき昭和の時代も40年代後半、映画は山田洋次監督の「男はつらいよ」寅さんシリーズへ。「おにいちゃん、さくら」倍賞千恵子と渥美清の二枚看板の掛け声で下町の人情溢れる情景が描かれた名作である。「私のお兄ちゃん」の歌唱では会場のどこからともなくすすり泣く声。私より年配の客が多い、きっと自身の人生と重なったのであろう。話は同時期のヒット作「幸福の黄色いハンカチ」のエピソードへ。倍賞千恵子が1970年代のアメリカの洋楽ヒット曲、トニー・オランド&ドーンの「幸せの黄色いリボン」の歌と歌詞に感銘を受け山田洋次監督に話したところ、高倉健との共演でかの有名な「幸福の黄色いハンカチ」が生まれたとのこと。

こうして倍賞千恵子の素敵な歌とトークが聞けたのであるけれど、素晴らしいピアノ演奏とユーモア溢れる言葉の掛けあいで会場を盛り上げたのは夫の小六禮次郎である。二人が織りなすとても暖かなコンサートであった。

<お兄ちゃん、さくら、懐かしき声>



プリンセスQP ズバリ占う！あなたの4月の運勢



- 【1月生】視点を変え解決策を探す星回り。恋愛は感情を整理し伝えよ。金運低迷。仕事は緊張感が増す、和ませて吉。
- 【2月生】自分に合った気分転換が必要な星回り。恋愛は自分の欠点を改善せよ。金運低迷。仕事は時間管理と効率化が吉。
- 【3月生】自分の足りない所を見つめ直す星回り。恋愛は理想と現実の差に苦しむ。金運低迷。仕事は次の目標に進め。
- 【4月生】挑戦し可能性を広げる星回り。恋愛は互いの想いが大切。金運好調。仕事は新しい技術やツールを習得して吉。
- 【5月生】新しい視点で物事が順調に進む星回り。恋愛は相手に寄り添って吉。金運平穩。仕事は努力を続け目指せ成功。
- 【6月生】日常の変化に注目する星回り。明るい未来の鍵に。恋愛運絶好調。金運好調。仕事は学ぶ習慣が活躍を生む吉。

- 【7月生】原因を見つめ直す星回り。恋愛は焦らないで吉。金運低調。仕事は新しい技術や方法で成功を引き寄せる吉。
- 【8月生】日常生活の充実を高める星回り。恋愛は思いやりを示し吉。金運現金管理せよ。仕事は問題解決し良い結果に。
- 【9月生】同じ考えを共有する人との連携が良い結果を呼ぶ星回り。恋愛運絶好調。金運収入アップ。仕事は成果上げ吉。
- 【10月生】健康や心の安定を大切にすべき星回り。恋愛運絶好調。金運平穩。仕事は慎重さを忘れずに粘り強く進めて吉。
- 【11月生】段階を踏みながら目標を達成する星回り。恋愛は見直して吉。金運高額出費注意。仕事は数年単位の計画が吉。
- 【12月生】信頼関係を強化すれば窮地を好機に出来る星回り。恋愛運好調。金運一度立ち止まれ。仕事は急がず丁寧が吉。

※恋愛運は愛情運の一部です。恋愛運が絶好調なら愛情運も凄く良いと思ってください。老若男女、既婚の方もお楽しみください。

編集後記

- 以前「コロナ流行も喉元過ぎれば」をネタに後記を書いたが、久々に再度罹患した。確かに、手洗い・うがいは気を抜く生活であった。マスクも仕方なしで使い回し。ザ・喉元過ぎればの凶。色々気を抜いた頃にやってくる……反省だよ、自分。 <パペポ>
- 長年使用のPCが壊れた。色々迷ってやっと新しいPCを注文。届く前夜にダメもとで壊れたPCにメールソフトを再インストールしたら、なんと完全復活した！古いPC、廃棄の危機を察知したか(笑)?……不思議なPC。 <どうゆうこと?>
- 「世の中は三日見ぬ間の桜かな」という言葉があるが、元は「三日見ぬ間に桜かな」で、桜が咲いたという意味だそうだ。「の」と「に」助詞が一つ変わるだけで描く世界が劇的に変わる。桜が咲けばこちらの気分も劇的にアップする。 <桜吹雪>
- ミラノ・コルチナオリンピックはフィギュアのりくりゅうペアや多くの日本チームの大活躍に沸いた。そしてモーグルのワールドカップも富山で開催された。この勢いが輝く日本の未来へと続きますように。 <どうしてもどうしても>
- 久々の晴れの日に突然現れたカメムシ!! 格闘の末、外に逃したけど、まだ寒さが残っていたような。しかし今年は冬を感じる日が少なかったように思う。カメムシやらカエルやら完全に寝不足じゃないかな〜。 <月がふたつ>
- 少し前になりますが、カラーレ映画の森「35年目のラブレター」を観ました。設定は意外でしたが、主役が好きな女優さんで、年齢的に近く、今後ありえる内容だったので、マジマジと観てしまいました。映画って、やっぱりいいですね。 <どら>



ヨーロッパ紀行②(全3回) (ベルギー、ドイツ)

オランダのデルフトから南下し、ほどなくベルギーに出国。風力発電用風車のデザインが変わった。まずはアントワープへ向かう。ここは「フランダースの犬」の舞台となった街。中心市街地のマルクト広場横にある聖母大聖堂には、ネロ少年が一目見たかったルーベンスの絵が飾られている。400年以上前に描かれた絵だがとても生々しく、今にも動き出しそうなくらいリアル。大聖堂前にはネロ少年とパトラッシュの像が横たわっているオブジェがあり、フォスポットになっている。「フランダースの犬」の物語そのものは、地元民にはさほど知られていないらしい。

そして本日の宿泊地、ブリュッセルに向かう。こちらも歴史を感じる街並み。ホテルにチェックイン後、街歩きへ。「小さくてびっくりするヨ！」という小便小僧がすぐ近くにあった。思ったよりもちゃんとしているではないか!? それなりに観光客も多く、向かいのオシャレなカフェもにぎわっている。そして向かったのは世界でも有数の美しさで知られる世界遺産広場「グランプラス」へ。広場に面したレストランのテラス席で夕食。名物のムール貝を堪能している間に遅い夕焼け(夜10時半!)になり、ピンク、赤、紫の入り混じった幻想的な光につつまれる。

ベルギーではこの1泊のみ。朝は世界最高のアーケード街と言われる「ギャルリー・サンチュベール」を歩く。通り自体が美術館のようで、ガラスの天井から降りそそぐ光がまぶしく、美しい。

今度は東に向かい、あっけなくドイツに出国。アウトバーンに入り、車のスピードが一気に上がる。平均速度は130km/hくらいで、追い越しして行く車は150~170km/hくらいだろうか? 風力発電風車のデザインもまた少し変わる。向かうはライン川沿いの要所、ケルン。街に近づくとすぐに、ケルン大聖堂が目に入ってくる。世界最大のゴシック建築として有名だが、建設にはおよそ600年を要したとのこと。その大きさに圧倒される。すぐ横にはオーデコロン発祥の店とされる「4711」があり、こちらも観光客でいっぱい。その後は宿泊地であるデュッセルドルフに向かう。この街には日系企業も多く、日本人も多いらしい。世界中から人が集まっているせいか、いろんな国のレストランがあり、私はギリシャ料理店で夕食をいただいた。さあ、明日はオランダに再入国だ! [続く] <えりっ君/♂>



新聞部からのおてがみ

大雪、突然の衆議院選挙、冬季オリンピック・パラリンピック観戦と慌ただしく過ぎ、はや4月。黒部市では市長選挙もあり、もう4年たったのかと、時の流れの速さに驚かされます。

今月の特集は大人のピアノ「ドレミの会」にオジャマしました。発足から25年の「ドレミの会」の皆さんは、ピアノが大好き! いつも和気あいあい、音楽談義を交わしながら、それぞれのペースで演奏を楽しんでおられます。ピアノに興味のお有りの方、腕試しに演奏したい方は、リハーサル室ですの内履き持参で覗いてみてください。

<か>



投稿記事募集中

【こんなン観てきました】
コンサート、演劇、映画、美術展等の鑑賞レポート。会場はカラーレ以外でもOK。1,000字程度で、公演タイトルと鑑賞日も忘れずに。

【気ままになんでも写真館】
あなたが撮った写真を送ってください。「畑でできた大きな大根を見て」「我が家のペットです」等、何でもOK! コメントは120字程度で。

【わたしの旅行記】
国内、海外問わず、旅行体験を1,000字程度で書いてください。